

産学官民連携プラットフォームを活用した地域づくり

2021年3月16日

福岡地域戦略推進協議会（FDC）事務局長

石丸 修平



福岡地域戦略推進協議会（FDC）とは

■ 産学官民の事業創出プラットフォーム

- 福岡地域戦略推進協議会（Fukuoka D.C.）は、福岡の新しい将来像を描き、地域の国際競争力を強化するために、**地域の成長戦略の策定から推進までを一貫して行う、産学官民一体のThink&Do タンク**です。福岡都市圏を核として、九州、さらには隣接するアジア地域との連携を図り、事業性のあるプロジェクトを推進しています。

- 設立：2011年4月
- 会員：218（2021.2.28現在）
 - 正会員 145
 - 賛助会員 66
 - 特別会員 7
- 自治体 10
 - > 福岡県、福岡都市圏広域行政推進協議会
 - > 福岡市、福津市、宗像市、飯塚市、久留米市、広川町、鳥栖市、小城市
- 組織
 - > 会長：九州経済連合会 会長
 - > 副会長：九州大学 総長
 - > 副会長：福岡都市圏広域行政推進協議会 会長



これまでの地域戦略の目標

■ 「支店経済」から脱却し「東アジアのビジネスハブ」へ

- 交流を活性化し、「質」を重視した成長を目指す。
 - 雇用：+6万人
 - GRP：+2.8兆円
 - 人口：+7万人



国際競争力の強化により、
ビジネス交流・開発・営業拠点として
「東アジアのビジネスハブ」を築きます。

東アジアのビジネスハブ…日本・中国・韓国・台湾などとのビジネス
交流・開発・営業の拠点となり多様な人材が訪れ、働き暮らしている都市。



福岡都市圏は
国際競争力を備えた
アジアで最も持続可能な
地域をつくります。

交流を活性化することにより、
“質”を重視した成長を目指します。



これまでの地域戦略における重点分野

■ 8つのビジネス基盤と8つの重点産業分野

- 地域診断や参画会員との対話を通じて、戦略で焦点を当てるべき8つのビジネス基盤と8つの重点産業分野を特定。



これまでの地域戦略の行程

■ アジアの成長活力を取り込み東アジアのビジネスハブへ

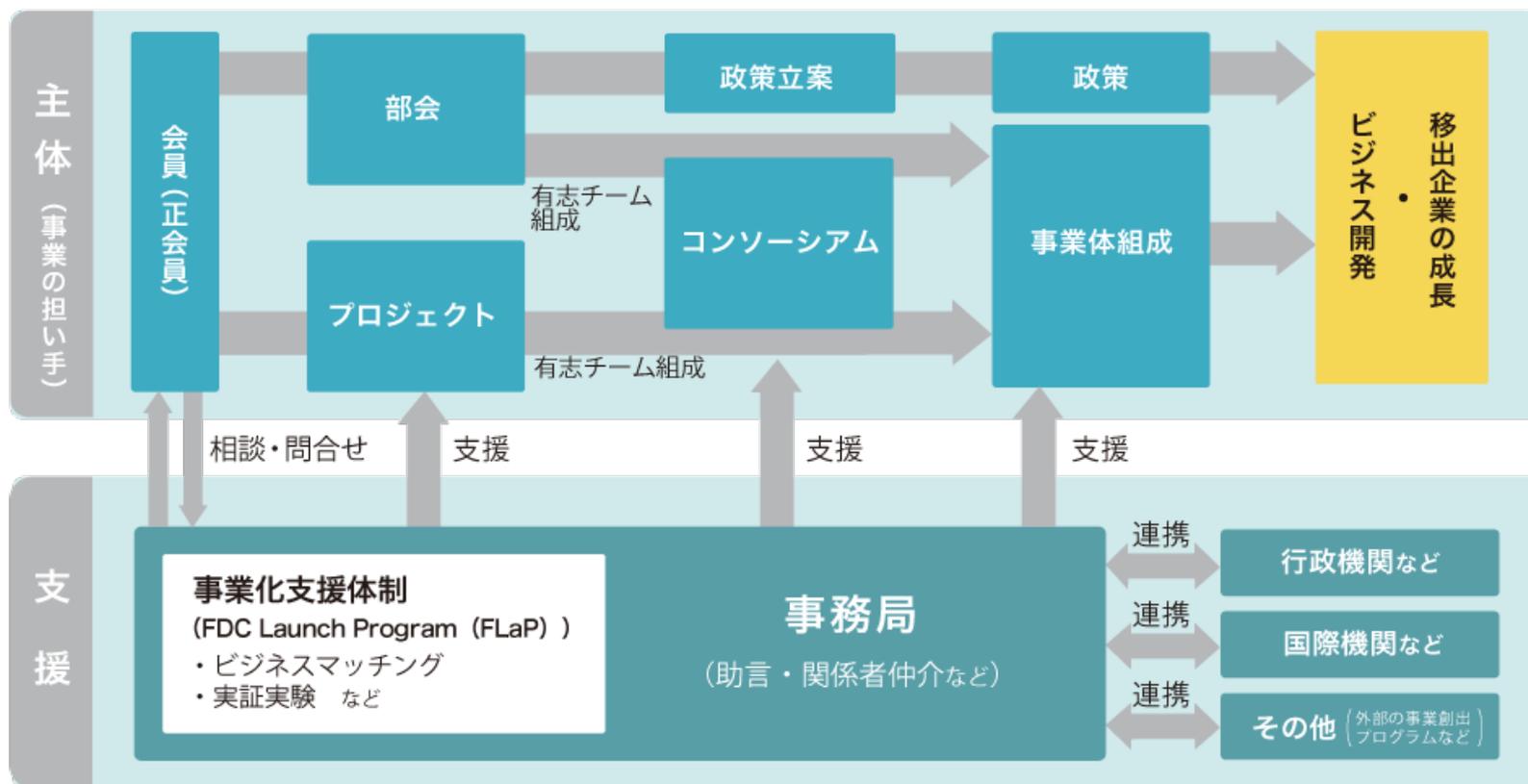
- 第1期（短期）：交流人口の増加（MICEの推進など）
- 第2期（中期）：ビジネスの開発（社会実験やスタートアップ支援など）
- 第3期（長期）：移出産業の成長（雇用創出や域外でのビジネス創出など）



地域戦略から事業創出に至るフロー

■ 会員が主体となる事業創出プラットフォームを構築

- 部会やプロジェクトから発生するコンソーシアムのみならず、会員からのコンソーシアム組成支援依頼や提案があった場合、地域戦略の趣旨に沿ったものであれば、積極的に採用し、事務局はその支援を行います。



地域戦略の特徴

■ FDCの地域戦略と福岡市のマスタープランの連動

- 戦略の主要素を福岡市マスタープランに位置づけ、公共政策・公共投資と民間事業が連動。

福岡市マスタープラン

都市経営の基本戦略

- ① 「生活の質の向上」と「都市の成長」の好循環を創り出す

地域

人材

MICE
都心

スタート
アップ

- ② 福岡都市圏全体として発展し、広域的な役割を担う

 **Fukuoka D.C.**

福岡都市圏の 成長戦略

8つの重点産業分野

×

8つのビジネス基盤

人材

MICE

都心

都市再生に関わるこれまでの取り組み 都心再生戦略の策定と推進

- 官民連携での都市再生の長期戦略の策定と合意形成
- 関連する行政計画への要素の反映

福岡地域戦略推進協議会 都市再生部会



都心再生マスタープラン

都心の将来像の実現に向けて、最近で取組むべきことを初動期の活動として設定しました。初動期の空間整備では、イノベーションアンカーの創造、3つのコアの集約となる公共空間の創造、リバーフロント及びベイフロントコアの創造から着手してまいります。長期的に成熟期に達した後は、都心全体が実質経済からイノベーション経済へ移行し、都心各エリアの機能更新が進んでいくこととなります。

支店経済から イノベーション経済へ

革新的で創造的なビジネス活動を容易に始めることが出来る環境(空間・制度)が形成されることで、グローバルマーケットを目指す国内外の多様な人材が集まり、新たなビジネス活動が盛んになっていく。

革新的な人材が集積する空間が整備され、革新的で創造的なビジネス活動を行う支援施策が導入されることで、福岡都市圏の消費市場の質的転換が自ずかとも、小売・飲食・建設等内産産業も含めて幅広い産業がグローバル市場をターゲットに活動できるようになり、都心の産業や居住環境も自立に生まれ変わっていく。

Ver. 2015.06.07

福岡都心再生戦略

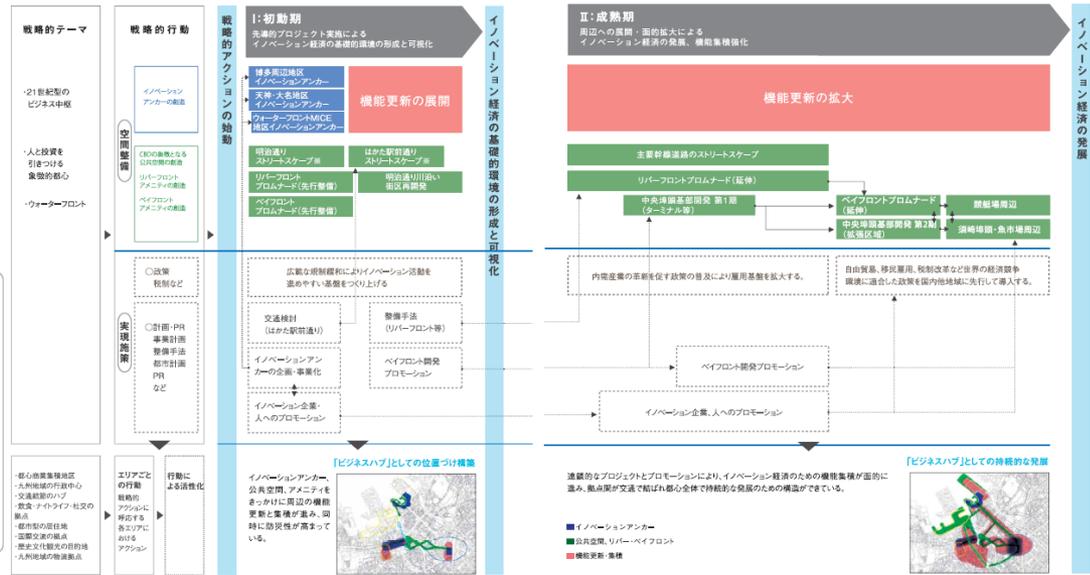
Fukuoka City Center 2050

Fukuoka D.C.



PHOTO: Copyright © 2015 Fukuoka D.C. All Rights Reserved

III ストリートスケープ 活動履歴



Ver.2013.06.07

1 ウォーターフロント

- ・MICE、集客交流、港湾人流の機能を強化する
- ・ベイフロントのアメニティを向上させ、日常的な活動と賑わいをつくり出す



(c) Fukuoka D.C. - Freedman Tang + Sasaki Urban Design - Timothy Weis 2013

2 天神・渡辺通

- ・大濠公園・舞鶴公園や北天神と天神地区の連続性を生み出す
- ・歩行空間のアメニティを向上させ、建物低層部の賑わいをつくり出す



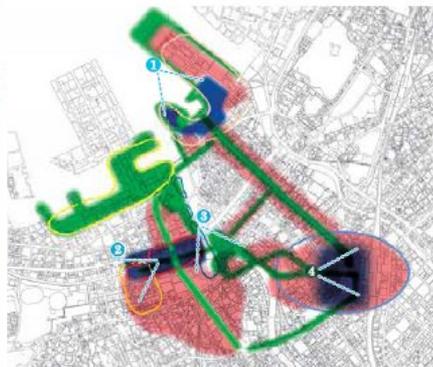
(c) Fukuoka D.C. - Freedman Tang + Sasaki Urban Design - Timothy Weis 2013

※鳥籠図を描く便宜上一部の建物を描いていません

支店経済からイノベーション経済へ

- 1.イノベーションアンカー^{※1}を核に革新的な経済活動が盛んに生まれている。
- 2.魅力的な公共空間やウォーターフロントの整備によって生まれた都心のアメニティが、高度な人材の定住と就業を引きつけている。
- 3.福岡・博多の独自性を感じられる象徴的な都心の魅力が、人々と投資を呼び込んでいる。
- 4.3つの異なる経済的な個性 (MICE、CREATIVE CBD^{※2}、GATEWAY CBD) が連携することで都心経済を拡大し、福岡都市圏、ひいては九州・日本の経済成長に波及している。

※1 イノベーションアンカー：多様な人材が交流し、意見交換し、議論等を行うことで革新的・創造的なアイデア、ビジネスや価値を生み出す機能を持つ場。
 ※2 CBD：中心ビジネス地区、Central Business Districtの略。



- イノベーションアンカー
- 公共空間、リバーベイフロント
- 機能更新・建替

今後、市民の皆様や幅広い関係者との協議を重ねつつ、マスタープランの実現に向けて取組んでまいります。
 その協議の一助として、都心再生戦略が推進され、イノベーション経済の発展と機能集積の強化が進んだ成熟期のイメージ図を描きました。

この絵は福岡地域戦略推進協議会が目指す将来の福岡都心部の姿をイメージしたものであり、具体的な事業を規定するものではありません。

リバーフロント 3

- ・リバーフロントのアメニティを向上させ、都心の各拠点を結ぶ回遊軸を強化する
- ・水辺の花や緑などで賑わいをつくり出す



(c) Fukuoka D.C. - Freedman Tang + Sasaki Urban Design - Timothy Weis 2013

博多周辺 4

- ・博多駅南西街区のまちづくりを周辺のまちづくりにつなげていく
- ・都心の重要な回遊軸のアメニティを向上させ、賑わいをつくり出す



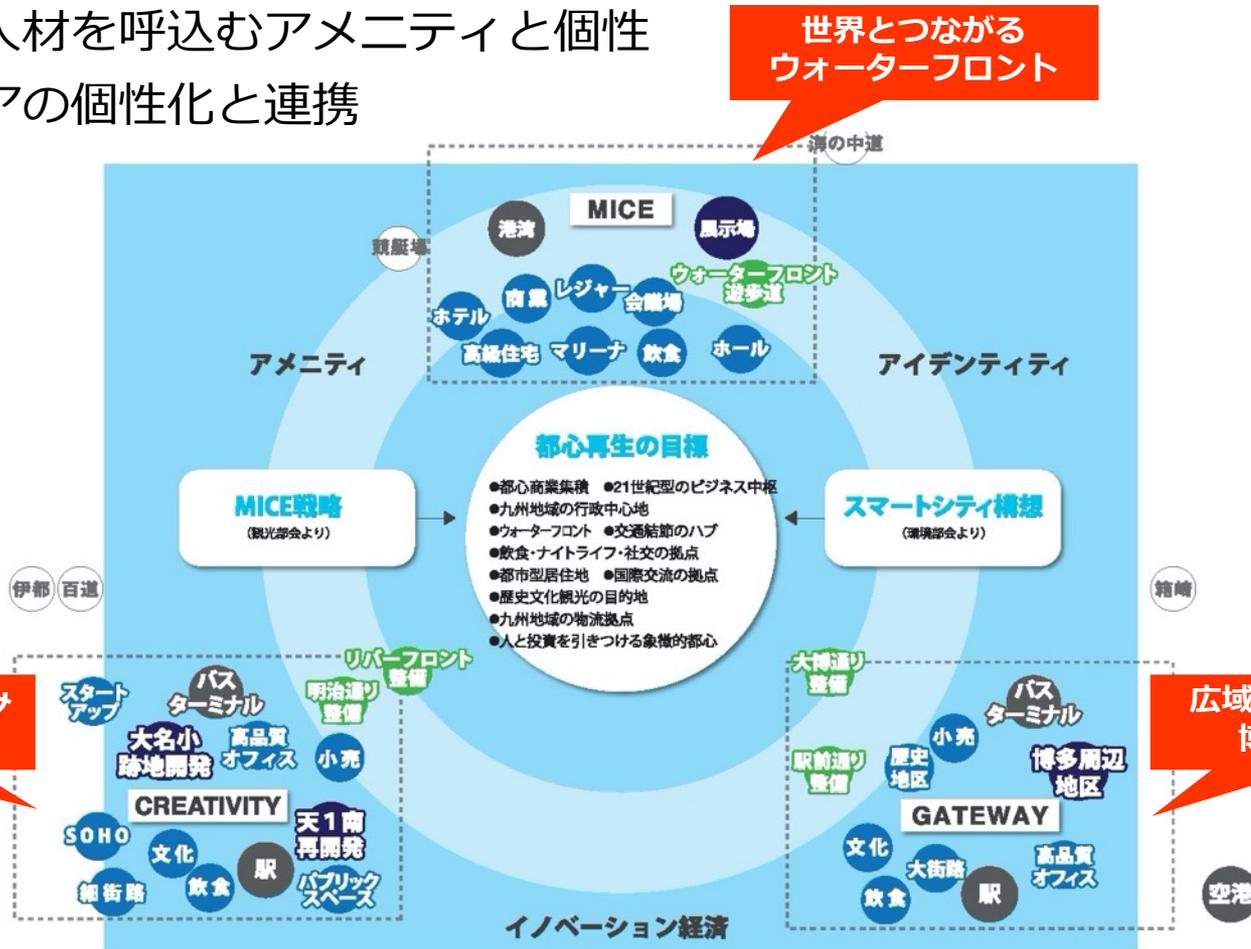
(c) Fukuoka D.C. - Freedman Tang + Sasaki Urban Design - Timothy Weis 2013

※鳥籠図を描く便宜上一部の建物を描いていません

需要創造に向けた福岡都心の将来像を描いた

■ 新たな価値を生み、人材を根付かせ、市場を広げる都心を構想

- イノベーション・アンカー
- 投資と人材を呼込むアメニティと個性
- 3エリアの個性化と連携



スタートアップを生み出す天神・渡辺通

広域にサービスする博多周辺地区

イノベーション・アンカー

■ 多様な人材が交流し、意見交換し、議論をすることで革新的・創造的なアイデア、ビジネスや価値を生み出す機能を持つ場

◆ インキュベーションの機能を提供する場 **incubation**



起業家支援のためのNPO
(ボストン マス・チャレンジ)



インキュベーション・学習・交流
(バルセロナ・メディアTIC)

◆ 教育・学習の機能を提供する場 **Learning**

STARTUP SCHOOL



ビジネススクール
(スタンフォード大スタートアップスクール)



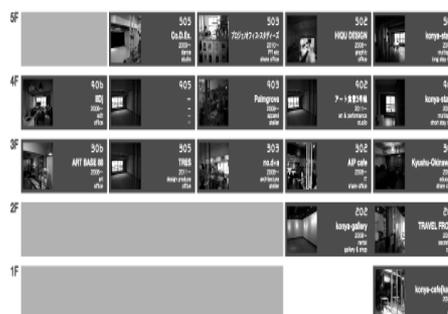
多様な専門学校・語学学校・サークル

◆ 商談・交流・ミーティング・共同作業の機能を提供する場

MICE and co-working



ビジネスセンター・サロン
(BIZCOLI)



シェアオフィス・共用スペース
(紺屋2023)



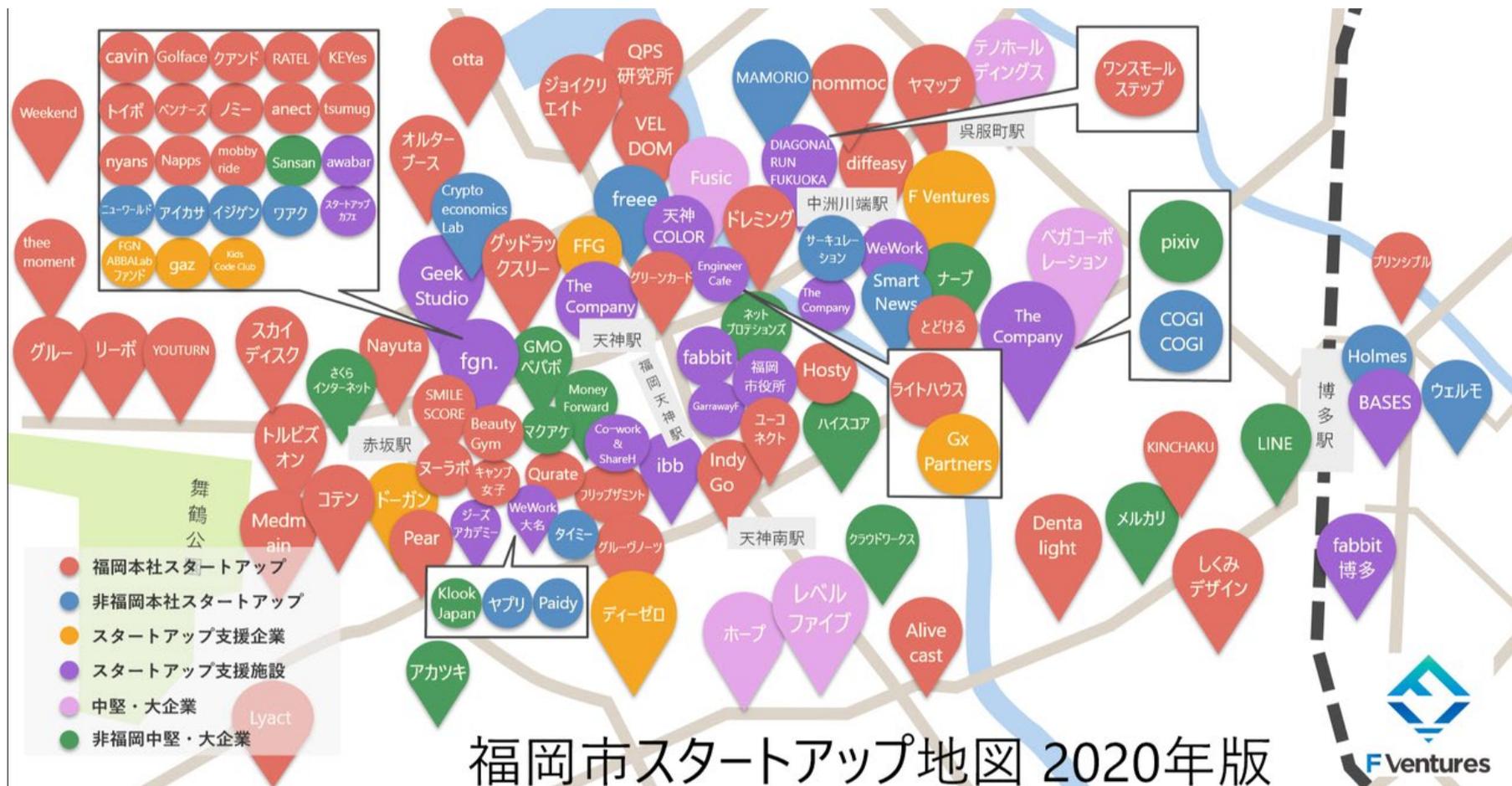
展示場・会議場
(シンガポール国際会議展示場)



歩道に開かれたレストラン・バー・カフェ

イノベーション・アンカーの実装とスタートアップの勃興

- 福岡市には、多数のコワーキングスペース、インキュベーション施設、スタートアップが天神・博多エリアに集積する事で、良質なコミュニティを形成している



FDC Launch Program (FlaP)

- FDCの事業化・コンソーシアム支援において、FDC Launch Programはオープンイノベーション及び事業開発機能、企業の国際化と海外企業の誘致、事業展開を担う。
- FDC事務局が当センターのマネジメントオフィスとなり、FDC会員ネットワークや外部の様々な事業創出プログラムを取りまとめることにより、他にはない重層的な事業支援体制を構築。

FDC Launch Program (FlaP)



支援メニュー

①ビジネスマッチング

(ビジネスパートナー/業務提携/販路開拓等)

③資・調達・援

(金融機関/VC/アクセラレーションファンド等)

②実証実験・援

(プロトタイプ開発/実証実験フィールドの提供/地元調整等)

④アドバイザー

(ビジネスディベロップメント/プロモーション等)

行政等

国際機関等



Fukuoka Mirai
Incubation Program



Open Network Lab
Fukuoka



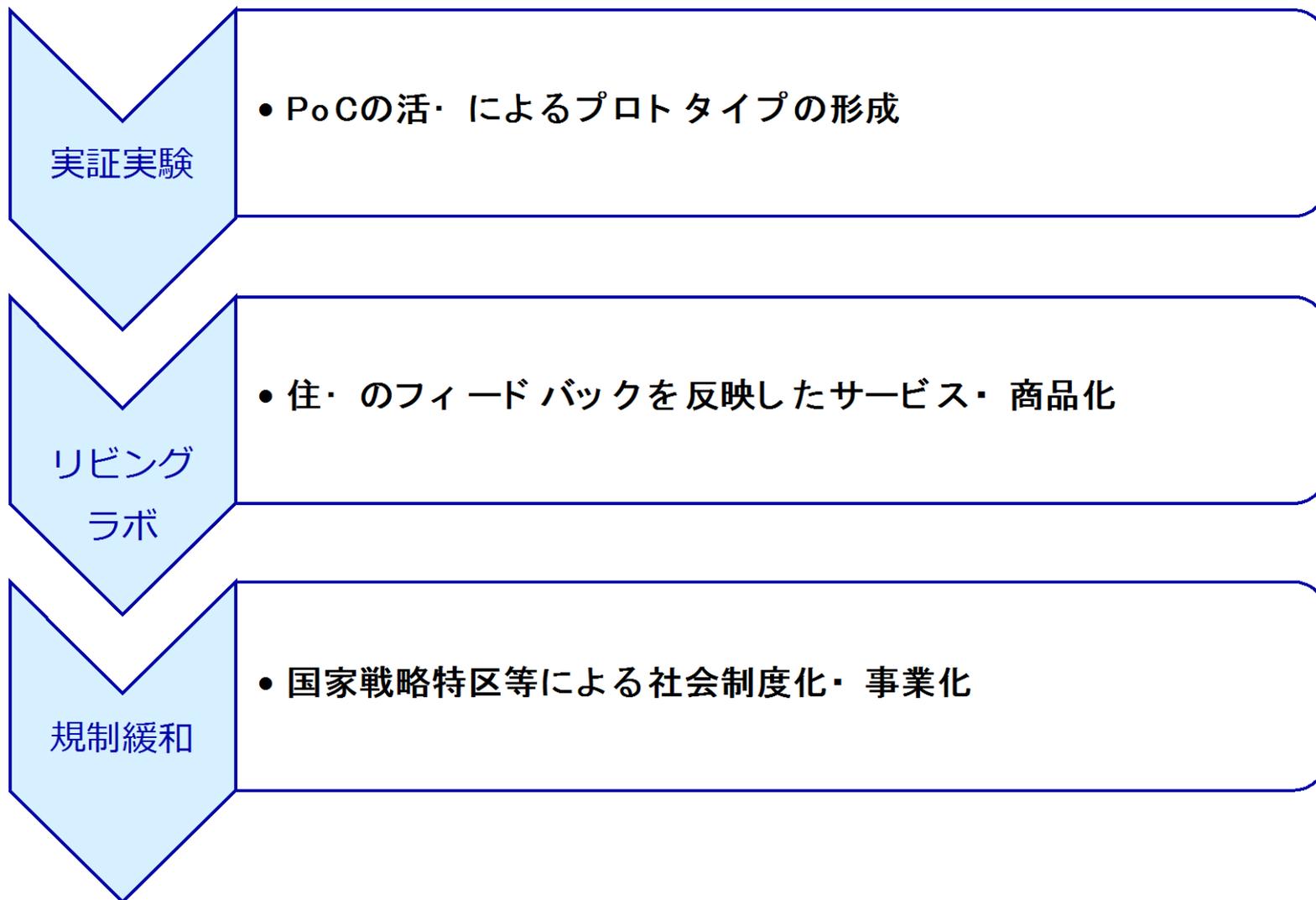
New Business
Creation Program

その他のプログラムも
順次追加

スタートアップ対象

中堅・大企業対象

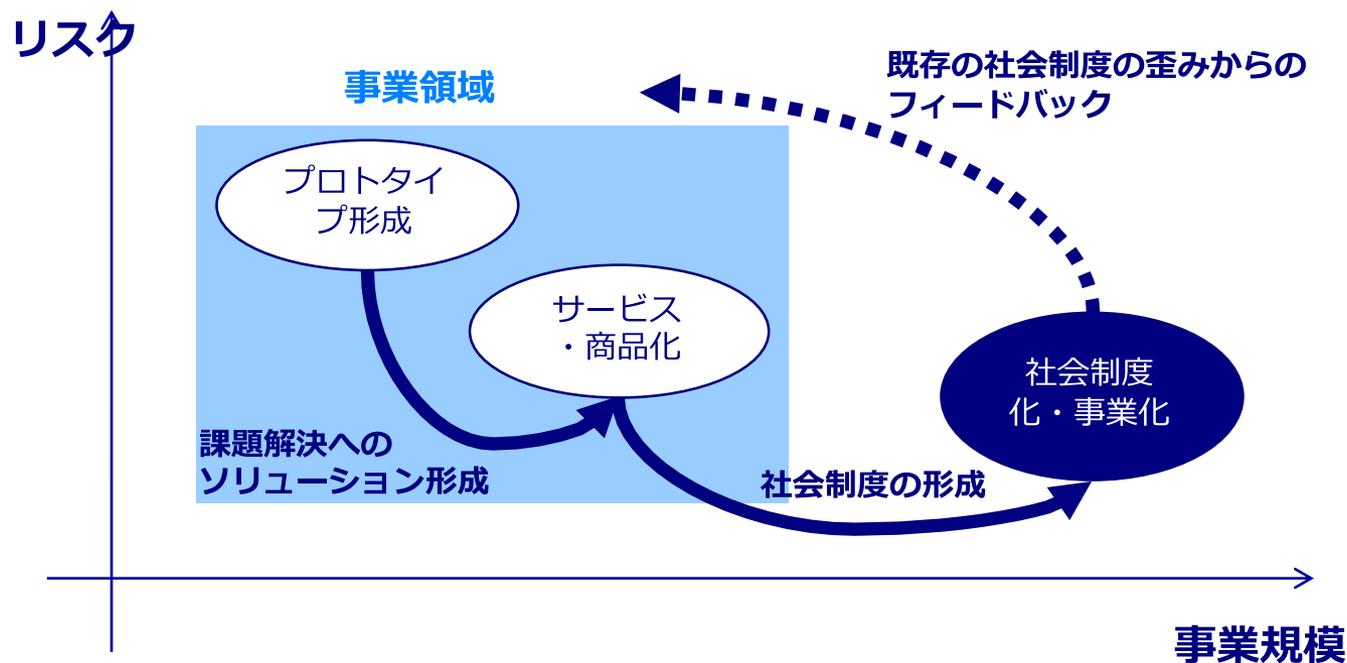
FDCのアプローチ



実証実験・社会実験を通じたイノベーションの創出

■現在の社会制度が対応できなくなった新しい社会的ニーズに対応するサービス・モデルを創出する社会実験のプロセス

- 民間組織や非営利組織等の力でモデル形成を行い、民間資金を活用しサービス化を行う
- 最終的には事業化されるか、あるいは行政による社会制度として取り入れられることを想定する



福岡市におけるグローバル施策の展開

福岡市は、世界のスタートアップ先進都市との交流を行い、スタートアップハブ機能の実装に向けた動きを加速している。



実証・社会実験を通じた新たな価値の創造

- 福岡市とFDCは、共同で実証実験フルサポート事業を立ち上げ、新たな価値の創造と社会実装に向けた動きを積極化



Fukuoka City LoRaWAN TM の無償利用、市内の公共施設
・ FDC会員企業が有する施設などの実証実験フィールドの
斡旋、地元調整、モニター募集



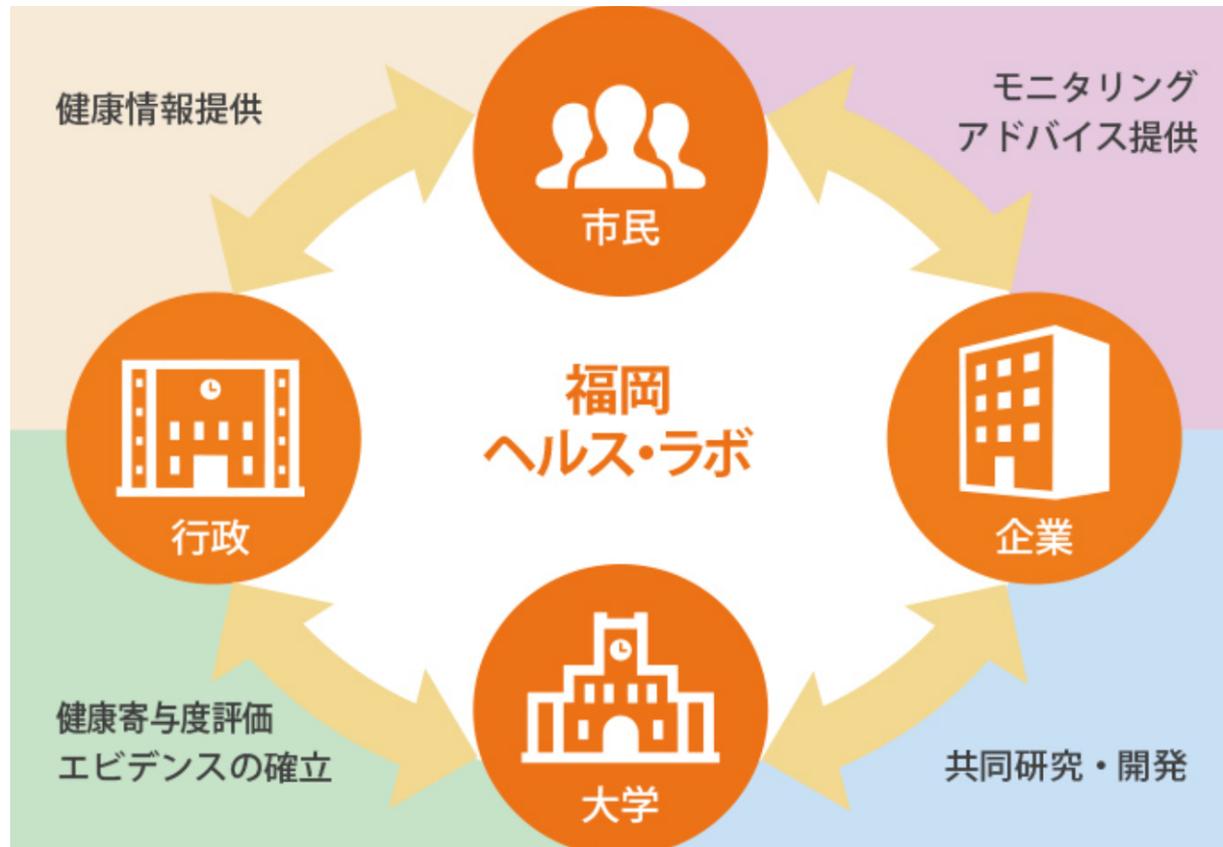
公開実証実験、市の関連イベントへの参加など、PRのための
場の提供（ベンチャーキャピタルや地場企業等とのマッ
チング機会も提供）



国家戦略特区を活用した規制緩和の検討
（規制緩和を伴う実証実験が対象）

福岡ヘルス・ラボ

- 「福岡ヘルス・ラボ」は、「楽しみながら健康になれる」製品やサービスに対し、市民の参画を得ながらその効果を検証し、評価・認定する実証実験の仕組み。
- 市民や企業、大学などが一体となって取り組み、健康づくりや介護予防などに役立つ製品やサービスの普及を後押しする。



イノベーションスタジオ福岡

イノベーションスタジオ福岡は、多様なバックグラウンド、能力をもつ様々な分野の人材や新たな創業や新規事業開発などに意欲のある方々が混ざり合い、「人の生活」を出発点に、ビジネスという切り口で新しい未来を創造していくプロジェクトです。

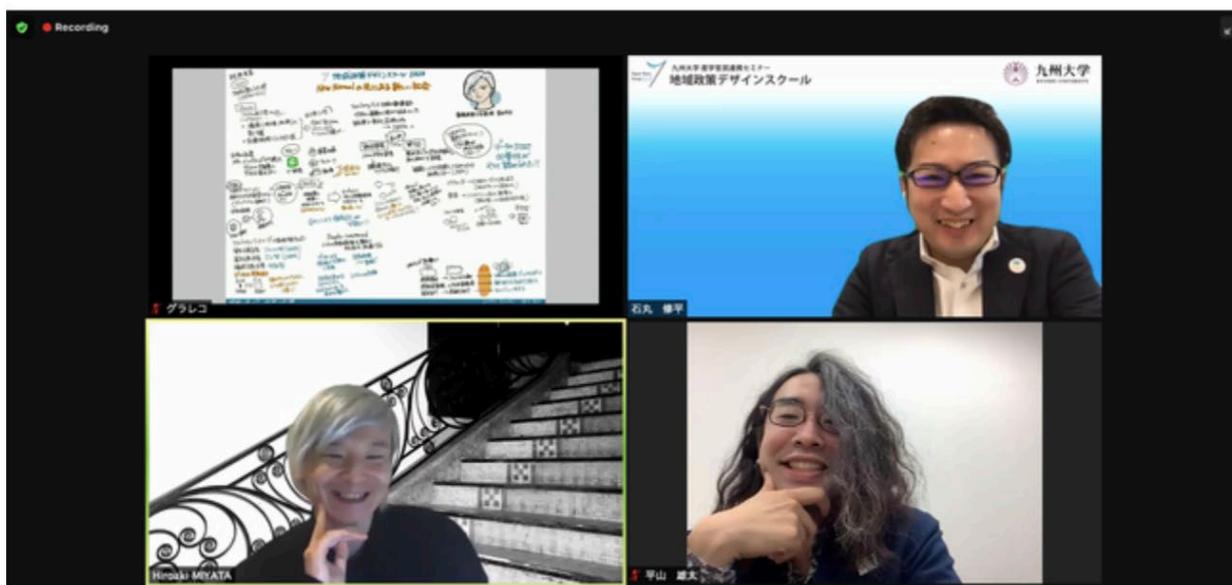
4つの基本方針

- 1 異なる専門分野、背景をもった多様な人材が一堂に会することで創造性を発揮する
- 2 生活者・ユーザー起点のボトムアップ型イノベーションの力を引き出す
- 3 イノベーション創出のための具体的な手法と最先端のプログラムを提供する
- 4 世界の都市・機関とイノベーションネットワークを結び、共同プロジェクト化する



九州大学地域政策デザインスクール

「地域政策デザインスクール」は2010年より、自立的な地域経営を担う高度人材の育成と、社会の課題解決に貢献する教育・研究を目的とする講座として実施しています。11回目となる本年度は、提言の具体性や実現可能性を追求するため、福岡県「飯塚市」、「みやま市」、「那珂川市」、「東峰村」、佐賀県「基山町」と連携し、研究フィールドとしています。社会人・大学院生で構成される受講生は、地域特性や政策課題を踏まえ、新たな取り組みやビジネスモデルを政策提言として取りまとめ、政策研究発表会（オンライン開催）にて発表します。

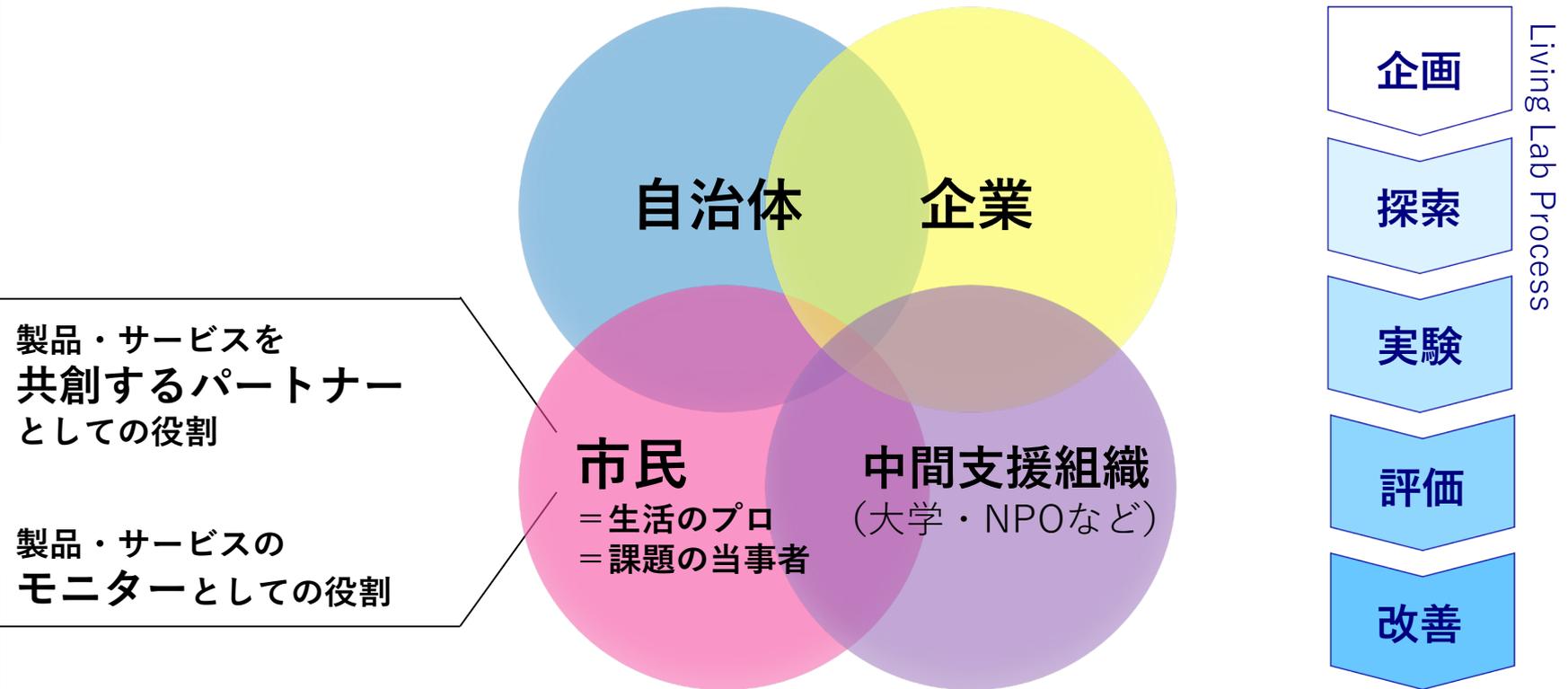


- 2020年度の講座テーマ

「持続可能な地域に資する政策デザインの実践 ～新しい社会のかたち～」とし、人口減少や高齢化などのトレンドや地方創生、Society5.0等の政府の方針を踏まえた新しい政策をデザインします。

リビングラボ（Living Lab）とは

市民参加型の共創活動



生活者が2つの役割を果たすことによって、
より満足度の高いサービスや製品を世に生み出していくことが期待できる

FDCによるリビングラボの取り組み

- 2017年に開始した「福岡リビングラボ」を皮切りに、様々なプロジェクトにおいて事業創出の手法の一つとして「リビングラボ」を取り入れている。

ヘルスケア（認知症予防） / エーザイ株式会社



災害復興支援 / 朝倉商工会議所・西日本新聞社



地方創生（移住促進） / 壱岐市



地方創生（特産品開発） / 小城市・NEXCO西日本



新型コロナ危機が引き起こす社会変化

■ 現在起こっている変化

働き方・暮らし方の急激な変化

- 外出自粛や社会的距離確保（3密防止）
- 飲食・物販・宿泊・集客施設の営業自粛・短縮
- 観光・MICE需要の激減
- ビジネススタイルの変化（リモートワークの普及、オンライン会議、出張や会食の回避）
- 交通需要の変化（在宅勤務等による移動の減少）

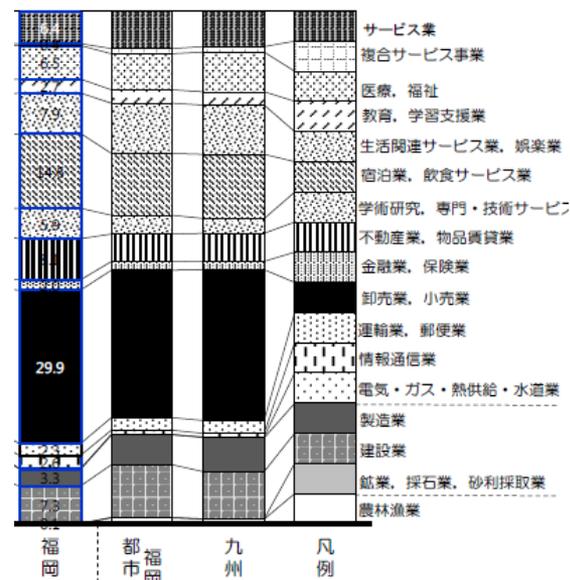
■ 中長期の変化見通し

社会・経済構造が大きく変わる可能性 福岡の「成長の軸」が揺らぐ可能性

より確実視される予想

- ◆ 経済成長の停滞
- ◆ 国際往来の大幅な落ち込み
- ◆ 国際観光・MICEの収縮
- ◆ 対面サービス業の収縮
- ◆ 国内観光需要の活発化
- ◆ テレワーク・リモートワークの定着
- ◆ DXの進行・オンラインサービスの勃興
- ◆ 8割経済の定着
- ◆ ワクチン・治療法の確立・普及
- ◆ ロボットの活用と普及
- ◆ キャッシュレスの浸透と普及
- ◆ オンライン授業、リモート医療の普及
- ◆ 都心オフィス・都心商業の衰退
- ◆ 低交通需要の定着・モビリティの変革
- ◆ 自由な働き方の浸透・普及
- ◆ 都市から地方へ経済活動移行

より不確実性の高い予想



上記の社会変化を踏まえ、福岡地域戦略推進協議会では「エール！ FUKUOKA」を実施

短期的アプローチ

地域の経済主体への対応力を強化

中長期的アプローチ

コロナ禍を踏まえた今後の方向性導出とアクション

エール！ FUKUOKAの強化

FDC多業種連携による各種アクションは、地域の経済主体の変化への対応力を強化する動き

ACTUON 01：医療従事者などを応援



介護施設への車両無償貸与

ACTION 02：活躍の場の創造



コロナの影響による失業、内定取消などを支援

ACTION03：地域経済を支援



飲食事業者に新たなビジネス機会を提供

ACTION04：オープンイノベーション



コロナを乗り越える実証実験の募集



Afterコロナの世界が真に豊かであるために
新しい価値を創造し 輝かしい未来に向けて
前進する人々を応援するプロジェクト

ACTION+α 地域社会へのエール！



ありがとう基金への寄付



賛同団体による合同Friday Ovation



九州豪雨支援のコンソーシアム組成



ONE KYUSHUサミット

「Beyond Coronavirusを見据えた福岡の可能性」

ビヨンドコロナ時代の福岡都心のあり方

オンラインイベント／主催：FDC

- 高島市長、福岡地所、東京建物、西日本鉄道、九州旅客鉄道、安宅和人氏（シン・ニホン著者）らが、ポストコロナの福岡のまちづくりを議論
- ⇒ 天神ビッグバンなど進行中のプロジェクトについて、都心の価値を
- 高めるため、コロナ対応を積極的に盛り込む意向などが示された
 - **福岡が東京一極集中の受け皿となる中核的役割を果たす**
 - **アジア、世界に先駆けて“コロナホワイト”のまちづくりを早期に打ち出す必要**



市政記者各位

令和 2年 8月 27日

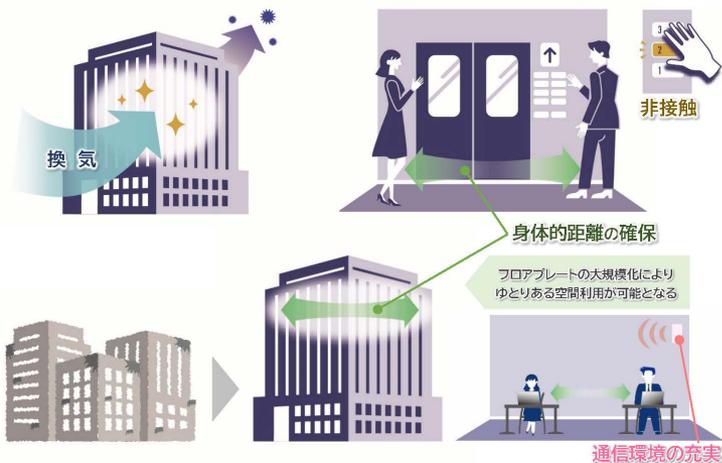
世界に先がけた感染症対応シティへ！

～ 生まれ変わる都心 ピンチをチャンスへ ～

1. 概要

更新期を迎えたビルが多く集まる都心部においては、天神ビッグバンや博多コネクティッドなどにより、ビルの建替えプロジェクトが今まさに進行しております。

今後は、感染症時代に対応した安全安心なまちづくりが重要になってくることから、建替えによる耐震化やオープンスペースの創出・活用などに加え、ビルの「換気」「非接触」「身体的距離の確保」「通信環境の充実」などの取組みを誘導します。これらを推進することで、より国際競争力が高く、安全安心で魅力的なまちづくりにチャレンジしていきます。



2. 実施内容

ビルの建替え時にWithコロナ・Postコロナ時代にふさわしい取組みを誘導！

取組みを実施するビル計画に対して、**市独自の容積率緩和制度を拡充！**

〈取組み例〉

都心部
エリア

**「新時代にふさわしい機能(感染症対策等)」を、
新たな容積評価の対象として、**

都心部機能更新誘導方針に追加します!!

まちづくり取組み評価
【国際競争力】
⇒【国際競争力・感染症対応】

最大
50%

天神BBB
エリア

**天神BBB(ビッグバンボーナス)期限延長
竣工期限 2026年12月31日まで**

※複数街区にまたがる、段階的および連続的な
建替え計画の期限については個別に判断します。
(2022年末までに計画の概要を市に提出するものに限る。)

換気

- 機械換気増強、自然換気導入
- CO₂濃度センサー など

非接触

- タッチレスエレベーター
- 顔認証入退エントランス
- 非接触検温センサー など

身体的距離の確保

- 大規模なフロアプレート
- エレベーターの大型化・台数追加
- 人数検知技術を活用した入室分散管理 など

通信環境の充実

- 全館Wi-Fi
- ローカル5G など

その他

- 空気清浄・エアシャワー
- 抗菌素材(エレベーターボタン等)
- 除菌・殺菌装置 など

市
全域

【参考】

オープンスペースを活用した3密(密閉・密集・密接)回避の取組みを誘導！

公開空地を活用した屋外テラス営業などの屋外活用の促進を含めた、飲食店における安全安心に向けた取組みを実施中 (7/22～11/30)



■問い合わせ先

住宅都市局 都心創生部 都心創生課 許斐(このみ), 小川 092-711-4425 (内2890)

FDC地域戦略推進におけるアクション

1

地域経済主体の対応力強化のための基盤形成

2

情勢の変化を踏まえたアジャイルな政策策定

3

新たなニーズを捉えた事業のイノベーション

▶ **産官学民のナレッジを結集してアジャイルに解いていく**